



記録編

第1章 全国都市緑化フェアの目的・基本理念

❖ 1. 目的

全国都市緑化フェアは、都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的とするものとする。（「全国都市緑化フェア開催要綱」（昭和60年1月30日建設省））

❖ 2. 基本理念

全国都市緑化フェアは、我々一人ひとりが緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、増やし、育てるための知識を得る場として、「緑豊かな街づくり」～窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう～をテーマに開催するものであり、公共公益施設、一般住宅などの緑化も含めた総合的な都市緑化を、幅広くかつ積極的に推進するための契機にしようとするものである。

第2章 第30回全国都市緑化とっとりフェアの概要

❖ 1. 名称

名称：第30回全国都市緑化とっとりフェア
愛称：水と緑のオアシスとっとり2013

❖ 2. テーマ

「ともに育てる身近な緑」
～水と緑につつまれた世界ジオパークのまちから～

❖ 3. 提唱

国土交通省

❖ 4. 主催

鳥取県、鳥取市、公益財団法人都市緑化機構

❖ 5. 会期

平成25年9月21日(土)～11月10日(日)

❖ 6. 会場

- 主会場
湖山池公園(鳥取市)
- サテライト会場
東郷湖羽合臨海公園(湯梨浜町)
とっとり花回廊(南部町)

❖ 7. 主会場の開場時間

午前9時30分～午後5時 ※11月は午後4時30分まで

❖ 8. 目標入場者数

40万人(うち主会場は30万人)

❖ 9. 基本理念

鳥取には、多彩な海岸地形、緑豊かな山々、鳥取砂丘など、世界ジオパークにも認定された特有の自然環境が存在しており、人々は、水と緑あふれる豊かな自然と共に歩みながら、特色ある風土、暮らし、文化を育んできた。

そして、豊かな自然環境の保全活動や、鳥取大学の乾燥地科学に代表される学術的研究、砂地環境を活かした植物栽培や環境芸術としての砂像の製作、協働による芝生緑化など、地域の風土に根ざした先進的な取り組みや活動が行われている。一方、本格的な環境時代が到来し、環境やまちづくりに果たす緑の役割、協働によるまちづくりの必要性の認識は全国的に高まっている。

全国都市緑化とっとりフェアは、水と緑あふれる鳥取の風土の特徴やジオパークの風景、鳥取の自然素材を活かし、鳥取らしいフェアの展開を図るとともに、先進的な技術や取組の紹介を通じて、自然を大切にしながら楽しむ鳥取の心を全国に発信する。

また、自然と共に歩む県民の力を集結し、鳥取の風土を活かした緑化を協働により推進することで、鳥取らしい魅力あふれるまちを育む契機とする。

❖ 10. 基本方針

(1) 鳥取の特徴あふれる風土の魅力発信

世界ジオパークエリアで開催される初の全国都市緑化フェアとして、ジオパークと調和した植物などの自然環境や環境を守り暮らしに活かす取組など、鳥取ならではの魅力を全国発信する。

(2) 花と緑と歩む新しい暮らしの体感

県民が、フェアでの様々な取組を体感、実感し、身近な緑を暮らしに取り込み楽しむ「鳥取流緑化スタイル」の創造や発見の契機となることを目指す。さらに、暮らしやまちにとって自然や花・緑の重要性・必要性が浸透していくことを目指す。

(3) ともに進める緑のまちづくり

県民と行政、学校、花や緑の専門家、まちづくり団体などが協働し、主体となってフェアに参加する機会を設けるとともに、フェア終了後も継続できる活動の場と、それを支える組織・仕組を構築する。

❖ 11. フェアアドバイザー

多数の著書やテレビなどで活躍し、日本のナチュラルガーデンの第一人者として人気のガーデンデザイナー ポール・スミザー氏（英国人園芸家・有限会社ガーデンルーム所属）に委嘱した。主会場湖山池公園のメインガーデンを監修していただいたほか、トークショーやナチュラルガーデンマイスター講座の講師など人材育成にも貢献していただき、「鳥取流緑化スタイル」推進の大きな原動力となった。

❖ 12. 県民運動 「とっとりグリーンウェイブ」の展開

平成25年5月開催の第64回全国植樹祭を契機に、鳥取県の緑の豊かさ、環境の良さを全国にアピールしていくための県民運動「とっとりグリーンウェイブ」が巻き起こった。

そして、同年開催の「第30回全国都市緑化とっとりフェア」や「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」へと発展・継承され、5万人を超える「美鳥の大使」が自然環境保全活動等に取り組み「とっとりグリーンウェイブ」を全国へ発信した。

❖ 13. 開催経過

平成22年度	
11月30日	基本構想策定
1月17日	国土交通大臣へ開催協議
1月27日	国土交通大臣から開催同意
平成23年度	
4月27日	第30回全国都市緑化とっとりフェア基本計画検討委員会第1回
5月30日	第30回全国都市緑化とっとりフェア基本計画検討委員会第2回
8月11日	第30回全国都市緑化とっとりフェア基本計画検討委員会第3回
8月31日	基本計画策定
10月18日	第30回全国都市緑化とっとりフェア実行委員会設立会議及び第1回総会開催
11月17日	ポール・スミザー氏をフェアアドバイザーに委嘱
平成24年度	
4月17日～25日	とっとりグリーンウェイブキャラバン（電気自動車で東日本大震災被災地訪問）
5月12日	ポール・スミザー氏講演会開催
6月4日	第30回全国都市緑化とっとりフェア実行委員会第2回総会開催
6月4日	実施計画策定
7月17日	ボランティアサロン開所
9月1日	入場券販売管理センター開所
10月6日	1年前まつり開催
10月28日	第29回全国都市緑化フェアTOKYO閉幕、フェア旗引継
1月21日	前売入場券等発売開始セレモニー
3月5日	200日前イベント開催
3月17日	湖山池に出現したアザラシ「コヤマみどりちゃん」をフェア応援団員に任命
平成25年度	
5月9日	第30回全国都市緑化とっとりフェア実行委員会第3回総会開催
5月22日	国連グリーンウェイブ2013アクションイベント
6月8日～9日	100日前まつり開催
8月25日	30日前イベント開催
9月18日	プレスプレビュー、フェア内覧会
9月21日	フェア開幕、オープニングセレモニー・開会式
10月10日	平成25年度全国都市緑化祭開催
11月10日	フェア閉幕、閉会式、フェア旗引継

第3章 公式行事

❖ 1.内覧会

開幕3日前の9月18日(水)に、主会場の内覧会を行い、会場周辺住民、県内自治体関係者、フェア関係者、旅行代理店、入場券販売関係者、報道関係者等約1,800名が訪れた。

❖ 2.オープニングセレモニー

9月21日(土)午前9時から、開会式に先立ち主会場・湖山池公園の来場者ゲート前においてオープニングセレモニーを行った。

鳥取県警察音楽隊によるオープニング演奏に続き、佐藤憲雄国土交通省大臣官房審議官、平井伸治鳥取県知事、竹内功鳥取市長、輿水肇(公財)都市緑化機構理事長、野田修鳥取県議会議長、湯口史章鳥取市議会議長、ポール・スミザー氏、松本若菜氏(女優)、鈴木恵梨佳氏(ミス日本)の9名によるテープカットを行い、世紀マーチングバンドクラブの先導により、開会式式典ステージへ招待者を案内した。

❖ 3.開会式

9月21日(土)午前9時40分から、主会場・湖山池公園内のじげ市場ステージにおいて、招待者約200名を迎えて開会式を執り行った。

輿水肇(公財)都市緑化機構理事長による開会宣言に続いて、平井伸治鳥取県知事と竹内功鳥取市長が主催者あいさつを行った。

続いて、佐藤憲雄国土交通省大臣官房審議官、石破茂衆議院議員、舞立昇治参議院議員、野田修鳥取県議会議長、湯口史章鳥取市議会議長による来賓挨拶が行われた。

その後、オープニングアトラクションとして岩美龍神太鼓の披露や、ポール・スミザー氏によるとっとりフェアナチュラルガーデンの説明、地元小学生から知事、市長への鉢の贈呈等が行われ、最後にフェアイメージソングの生演奏とダンスで開幕ムードを盛り上げた。

❖ 4.全国都市緑化祭

10月10日(木)、鳥取県民体育館において、秋篠宮同妃両殿下の御臨席を賜り、「平成25年度全国都市緑化祭」式典が開催された。

式典に先立ち、オープニングアトラクションとして我龍天晴によるしゃんしゃん創作傘踊りが披露された。

午前10時から、関係者約300名の出席のもと、竹内功鳥取市長による開会のあいさつで式典がはじまり、増田優一国土交通事務次官、平井伸治鳥取県知事による主催者挨拶ののち、秋篠宮殿下が「この度の全国都市緑化祭を契機として、鳥取から緑化推進の運動の輪が、さらに大きく世代や地域を越えて広がっていくことを祈念します。」とおことばを述べられた。

続いて、「全国都市緑化とっとりフェア花と緑の屋外出展コンテスト」、今回新設の「みどりの社会貢献賞」、「とっとりグリーンウェイブ活動貢献賞」の表彰が行われた後、鳥取市立湖山小学校4名、世紀小学校4名、湖南学園4名の合計12名による都市緑化宣言が行われ、矢野龍(公財)都市緑化機構会長の閉会の挨拶で式典は幕を閉じた。

式典終了後、記念植樹へ御臨席いただくため、両殿下はフェア主会場の湖山池公園へ御移動になり、まず公園内の「ナチュラルガーデン」を御視察されたのち記念植樹に臨まれた。鳥取県立鳥取東高等学校吹奏楽部の演奏が植樹会場に入場される両殿下をお迎えし、秋篠宮殿下は「ヤマナシ」を、同妃殿下は「アズキナシ」をお手植えされた。

その後、両殿下は同公園内のアースガーデン等を御視察され、会場は華やかなムードに包まれた。

❖ 5.閉会式

11月10日(日)午後3時から、主会場・湖山池公園内のじげ市場ステージにおいて、招待者約130名を迎えて閉会式を執り行った。

チーム満天星(どうだんつつじ)によるアトラクションの後、平井伸治鳥取県知事と竹内功鳥取市長が主催者あいさつを行い、佐藤憲雄国土交通省大臣官房審議官、前田八壽彦鳥取県議会副議長、湯口史章鳥取市議会議長による来賓あいさつが行われた。続いて、花と緑の屋外出展コンテスト審査員特別賞及び庭園出展人気投票の表彰を行った。

その後、フェア旗が次期開催地代表の森山誠二静岡県副知事へと引き継がれ、輿水肇(公財)都市緑化機構理事長が閉会宣言を行い、51日間の幕を閉じた。

秋篠宮殿下のおことば

平成25年度全国都市緑化祭が、ここ鳥取県で開催され、日頃から、全国各地で都市の緑化を推進しておられる皆様と共に出席できましたことを誠に嬉しく思います。

都市を豊かに彩る花と緑は、私たちの暮らしにゆとりと安らぎをあたえてくれます。また、景観の形成や防災性の向上、生物多様性の確保、二酸化炭素の吸収源としての効果など、多くの重要な役割を担っており、日々の生活になくてはならない存在であります。

地球環境問題への対応が求められている今日、都市緑化の推進を図り、潤いのあるまちづくりを目指して開催される全国都市緑化祭には、誠に意義深いものを感じます。

このたびの全国都市緑化とっとりフェアは、「ともに育てる身近な緑」をテーマに、湖山池公園を主会場に、とっとり花回廊と東郷湖羽合臨海公園をサテライト会場として開催されています。これらの会場では色とりどりの草花による花壇の展示や、暮らしに身近なフラワー・アートの体験教室が開かれていますと伺っております。また、主会場においては、企業や大学などからの出展による個性豊かな庭園とともに、鳥取の風土に適した草花を使用し、湖山池の雄大なロケーションを活かした「ナチュラルガーデン」も展示されていると聞き及んでおります。こうしたことは、多くの人々に花や緑とふれあう喜びを育み、草花を愛でる日本古来の文化を未来へと継承していくことにつながることでしょう。

私たちは、このフェアを通じて改めて花や緑が持つ効果を認識し、自然と人が共存し、地球環境と調和したまちづくりを実践していく必要があると考えます。

終わりに、この度の全国都市緑化祭を契機として、鳥取から緑化推進の運動の輪が、さらに大きく世代や地域を越えて広がっていくことを祈念し、私の挨拶といたします。

都市緑化宣言

(鳥取市立湖山小学校、世紀小学校、湖南学園の6年生合計12人)

わたしたちの住む街 鳥取市
世界ジオパークに認定されている
鳥取砂丘と山陰海岸
南側にそびえる中国山地
その山々を水源として流れている千代川
豊かな水と緑に囲まれています。
わたしたちの住む湖山地区は、
日本一の広さを誇る湖山池の東にあります。
水辺には葦が生い茂り、その葦を刈り取って、
毎年卒業証書を手作りしています。
春になると、地域の人々が守り育ててきた
桜が咲き誇り、人々の心を和ませます。
わたしたちの住む湖南地区は、
千年以上の歴史を持つ温泉地で、
学校には足湯があります。
初夏には、ホタルが飛び交い、
「ホタルの里」と呼ばれています。
美しい川の恵みを受け、多くの命が生まれています。
わたしたちの住む世紀地区には
四季折々の自然と触れ合うことのできる
出合いの森や布勢運動公園があります。
二十世紀梨の始まりとなった記念樹が
110年をこえる今も大切に育てられ、
多くの人々の思いをつないできています。
わたしたちは、自然と共に生き、自然の恵みに感謝し、
自然を大切にすることを受けついできたのです。
耳を澄ませば美しい虫の鳴き声や
小鳥のさえずりが聞こえてきます。
辺りを見渡せば色とりどりの花が咲き、
人々に笑顔が生まれてきます。
窓を開ければさわやかな森の香りが漂い、
元気がわいてきます。
わたしたちは、鳥取に息づいているこのすばらしい
自然を守り、人に優しく、環境に優しい
緑あふれる豊かな街づくりをしていくことを
ここに誓います。